

## 梅雨明け以降はカメムシ類とハダニ類の多発に注意！

### 1 気象概況

6月の降水量は平年比63%と少なく（アメダス・若松）、気温は平年よりやや高く推移しました。しかし、7月上旬に入ってからは一転して降水量が増加し、曇りや雨の日が続いています。

東北地方の1ヶ月予報（仙台管区气象台7/9発表）によれば、7月中下旬の降水量が平年より多くなる一方で、7月末から8月は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

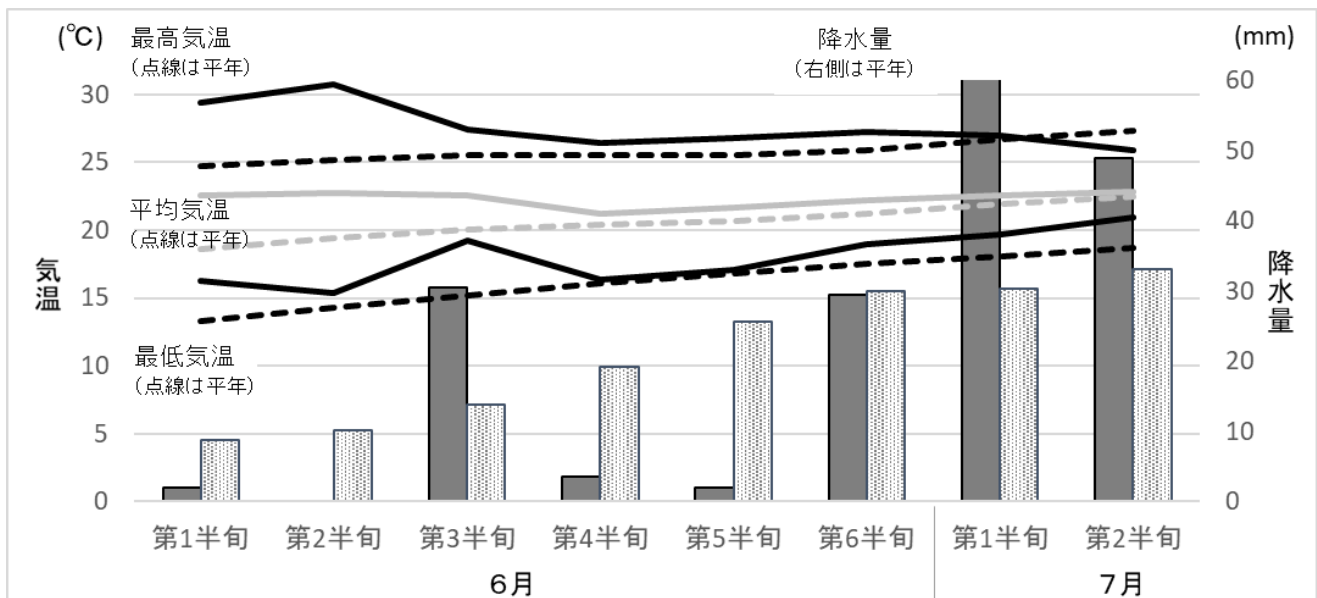


図1 6月から7月上旬にかけての気象概況（アメダス会津若松、半旬ごとの平均）

### 2 果樹の生育概況

リンゴは、とくに摘果作業に遅れが出ている園地では、平年よりも果実がやや小さい状況となっています。モモは6月末頃に硬核期が終了したとみられ、果実は平年よりもやや大きく推移しています。カキの果実は、平年よりも大きく推移しています。

表1 各樹種の果実肥大状況（7月1日調査、暦日比較、平年は1986～2019年の平均）

樹種 品種	リンゴ								モモ		カキ	
	ふじ				つがる				あかつき		会津身不知	
調査地点	会津若松市 北会津町		磐梯町		会津若松市 北会津町		磐梯町		会津若松市 神指町		会津若松市 門田町	
	縦経	横経	縦経	横経	縦経	横経	縦経	横経	縦経	横経	縦径	横径
平年比 (%)	110	109	90	93	96	99	98	104	103	108	112	122

### 3 今後の栽培管理

#### (1) 樹種共通

##### ア 病害虫防除

6月上旬～下旬にかけて、管内における複数の果樹園でカメムシ類の卵を確認しました。7月上旬頃から、カメムシ類の新成虫が順次発生すると予想されます。園内でカメムシの成虫を確認したら、防除暦や果樹情報特別号（6月15日発行）を参考に防除を徹底しましょう。

#### (1) リンゴ

##### ア 仕上げ摘果

満開後60日（今年の北会津「ふじ」なら7月5日頃）以降、リンゴは花芽分化期に入ります。仕上げ摘果が遅れると養分の競合から翌年の充実した花芽を確保できない恐れがありますので、速やかに終了させましょう。

##### イ 病害虫防除

一部園地で黒星病や斑点落葉病の感染が確認されています。梅雨の時期は様々な病害が広がりやすい時期なので、降雨の合間を見て計画的に防除しましょう。

また、梅雨が明ける7月下旬頃からはハダニ類の多発にも注意が必要です。とくに乾燥した条件で多発しやすいので、葉をこまめにルーペ等で確認し、発生を確認したら防除暦を参考に防除を徹底しましょう。

#### (2) カキ

##### ア 仕上げ摘果

生理落果は7月10日頃まで続きます。生理落果が終了する7月中旬頃から、小果、傷果、奇形果等を中心に摘果を実施しましょう。

##### イ 新梢管理

7～9月にかけて3回程度に分けて新梢管理を実施します。一度にせん除すると枝の二次伸長を招く恐れがあります。

新梢が密生している樹では、強すぎる新梢や弱い新梢、逆行している新梢を中心に間引きます。来年、結果枝として利用できそうな新梢は多めに残しましょう。

##### ウ 病害虫防除

例年、落葉病の発生が多い園地では、防除暦に基づき薬剤を散布しましょう。

#### (3) モモ

##### ア 修正摘果

モモ「あかつき」は6月末頃に硬核期が終了したとみられるので、順次、修正摘果を実施しましょう。肥大不良果や変形果、果面からヤニが噴出している果実等は、順次摘果します。一度にたくさん摘果すると、核割れや縫合面の割裂を助長する恐れがあるので、できる限り複数回に分けて丁寧に実施しましょう。

##### イ 収穫前管理

調査園における「あかつき」の平年の収穫開始日は、8月3日です。園地を良く観察

し、収穫が遅れないよう注意しましょう。なお、果樹研究所（福島市飯坂町）の生育予測（7月1日現在）では、「あかつき」の収穫開始日は平年よりも8日程度早くなる見込みです。

収穫予定日の10日前頃には、夏季せん定や支柱立て、反射シートの設置等により着色管理を実施しましょう。

#### ウ 病害虫防除

梅雨の時期は降雨によりせん孔細菌病の感染が拡大しやすい時期です。被害枝・葉・果実は見つけ次第除去して適切に処分してください。

#### ●「まどか」の収穫日

着色先行の品種で、収穫が早すぎると硬くて食味が不良となります。着色にとらわれず、満開後112日頃(今年の場合、概ね8月10日頃)に収穫しましょう。なお、収穫前には必ず試食し、硬さや食味を確認しましょう！！